

ブリッジポート

ブリッジポートは、Green-GO Bridgeデバイス上で設定可能な接続ポートであり、ルーティングされたネットワークを介して複数のGreen-GOシステムを接続するために使用します。

ブリッジポートは、WAN（広域ネットワーク）やインターネット経由の外部接続だけでなく、ローカルネットワーク内での接続にも利用できます。例えば、ローカルネットワーク上からGreen-GO Talkアプリへのアクセスを提供する用途にも使用できます。

各ブリッジポートは独立して動作し、それぞれ個別に設定できます。BridgeXでは4つのブリッジポートを利用でき、各ポートは1つの接続をサポートします。

ブリッジポートには、ルーティングネットワーク上で発生する遅延やジッターを補正するためのバッファ機能が内蔵されています。これにより、安定した音声伝送を実現するとともに、ローカルのGreen-GOシステムとの同期を維持します。

ポートモード

- **Any User:** ポートは、接続してくるすべてのユーザー接続を受け入れます。使用するユーザーは接続元のデバイス側で選択されます。
接続するユーザーが事前に決まっていない場合や、柔軟な運用が必要な場合に使用します。
- **Fixed User:** ポートに特定のユーザーを割り当てます。接続してきたデバイスは、割り当てられたユーザーとして強制的に動作します。特定の役割や固定されたユーザーを常に使用する必要がある場合に使用します。
- **Group Active:** ポートがリモート側のブリッジへ接続を開始し、拠点間でグループを接続します。
接続を開始する側で使用します。この側では通常、ポートフォワーディングの設定は不要です。
- **Group Passive:** ポートは他のブリッジからの接続を待機します。
接続を受ける側で使用します。通常はポートフォワーディングの設定、またはクラウド登録が必要です。

Any User

ポートが「Any User」に設定されている場合、使用するユーザーは接続先のデバイスで選択できます。

接続設定

接続モード

IP/PORT

UDPポート

UDPポートは、接続先となるリモートブリッジのポート番号を指定します。

設定可能範囲

- 00000 - 99999

💡 ヒント: 各ブリッジポートは、一度に1つの接続のみ受け付けることができます。

パスワード

ブリッジポートへ接続する際に必要な認証用パスワードを設定します。

設定可能文字

- 8文字: A ~ Z, a ~ z, 0 ~ 9, +, -

⚠ 注意: パスワードは常に8文字で設定する必要があります。

送信バッファ

送信側ネットワークで発生するジッターを吸収するためのバッファです。

設定値

- 10 ms
- 20 ms
- 30 ms
- 40 ms

💡 ヒント: 通常は変更する必要はありません。回線品質が悪い場合や通信遅延が大きい環境でのみ調整してください。

受信バッファ

受信側ネットワークで発生するジッターを吸収するためのバッファです。

📏 設定値

- 20 ~ 200 ms (10 ms刻み)

💡 ヒント: 通常は変更する必要はありません。回線品質が悪い場合や通信遅延が大きい環境でのみ調整してください。

CLOUD ID

⚠️ 警告: このサービスは現在利用できません。

クラウドID

8文字のクラウドIDを設定します。

クラウドIDは接続セッションを識別するために使用され、クラウドサービスへの認証にも必要となります。

💡 ヒント: 各ブリッジポートは、一度に1つの接続のみ受け付けることができます。

パスワード

ブリッジポートへ接続する際に必要な認証用パスワードを設定します。

📏 設定可能文字

- 8文字: A ~ Z, a ~ z, 0 ~ 9, +, -

💡 注意: パスワードは常に8文字で設定する必要があります。

送信バッファ

送信側ネットワークで発生するジッターを吸収するためのバッファです。

設定値

- 10 ms
- 20 ms
- 30 ms
- 40 ms

💡 ヒント:通常は変更する必要はありません。回線品質が悪い場合や通信遅延が大きい環境でのみ調整してください。

受信バッファ

受信側ネットワークで発生するジッターを吸収するためのバッファです。

設定値

- 20 ～ 200 ms (10 ms刻み)

💡 ヒント:通常は変更する必要はありません。回線品質が悪い場合や通信遅延が大きい環境でのみ調整してください。

Fixed User

ポート設定

ユーザー

ユーザーを選択

「Fixed User」モードでは、接続されたデバイスは選択したユーザーとして動作します。
また、[Green-GO Talk App](#) を使用するには、ポートを「Fixed User」モードに設定し、あらかじめユーザーを割り当てておく必要があります。

接続設定

接続モード：

IP/PORT

UDPポート

UDPポートは、接続先となるリモートブリッジのポート番号を指定します。

設定可能範囲

- 00000 - 99999

 ヒント：各ブリッジポートは、一度に1つの接続のみ受け付けることができます。

パスワード

ブリッジポートへ接続する際に必要な認証用パスワードを設定します。

設定可能文字

- 8文字：A～Z、a～z、0～9、+、-

 注意：パスワードは常に8文字で設定する必要があります。

送信バッファ

送信側ネットワークで発生するジッターを吸収するためのバッファです。

設定値

- 10 ms
- 20 ms
- 30 ms
- 40 ms

💡 ヒント: 通常は変更する必要はありません。回線品質が悪い場合や通信遅延が大きい環境でのみ調整してください。

受信バッファ

受信側ネットワークで発生するジッターを吸収するためのバッファです。

設定値

- 20 ～ 200 ms (10 ms刻み)

💡 ヒント: 通常は変更する必要はありません。回線品質が悪い場合や通信遅延が大きい環境でのみ調整してください。

CLOUD ID

⚠ 警告: このサービスは現在利用できません。

クラウドID

8文字のクラウドIDを設定します。

クラウドIDは接続セッションを識別するために使用され、クラウドサービスへの認証にも必要となります。

💡 ヒント: 各ブリッジポートは、一度に1つの接続のみ受け付けることができます。

パスワード

ブリッジポートへ接続する際に必要な認証用パスワードを設定します。

設定可能文字

- 8文字:A～Z、a～z、0～9、+、-

 **注意:**パスワードは常に8文字で設定する必要があります。

送信バッファ

送信側ネットワークで発生するジッターを吸収するためのバッファです。

設定値

- 10 ms
- 20 ms
- 30 ms
- 40 ms

 **ヒント:**通常は変更する必要はありません。回線品質が悪い場合や通信遅延が大きい環境でのみ調整してください。

受信バッファ

受信側ネットワークで発生するジッターを吸収するためのバッファです。

設定値

- 20 ～ 200 ms (10 ms刻み)

 **ヒント:**通常は変更する必要はありません。回線品質が悪い場合や通信遅延が大きい環境でのみ調整してください。

Group Active

ポート設定

グループ

ローカルコンフィグからグループを選択します。

接続先 (Passive側) では異なるコンフィグを使用している場合があるため、グループ名が異なっても問題ありません。

コールモード

この設定では、このチャンネルでコール信号を送信・受信するかどうかを指定します。

設定値

- 無効
- 受信
- 送信
- 送受信

ルーティング

ルーティングを有効にすると、このブリッジは他の拠点間を中継するプロキシとして動作できます。「ルーティングしない (Don't Route)」に設定した場合、このブリッジから受信した音声は、別のブリッジ接続へ再送信されません。

設定値

- 無効
- 有効

接続設定

接続モード

IP/PORT

IPアドレス

リモートIP: 接続先のゲートウェイまたはルーターのIPアドレスを指定します。

 **注意:** IPv4ネットワーク環境が必要です。

UDPポート

UDPポートは、接続先となるリモートブリッジのポート番号を指定します。

設定可能範囲

- 00000 - 99999

💡 ヒント:各ブリッジポートは、一度に1つの接続のみ受け付けることができます。

パスワード

ブリッジポートへ接続する際に必要な認証用パスワードを設定します。

設定可能文字

- 8文字:A ~ Z、a ~ z、0 ~ 9、+、-

⚠ 注意:パスワードは常に8文字で設定する必要があります。

送信バッファ

送信側ネットワークで発生するジッターを吸収するためのバッファです。

設定値

- 10 ms
- 20 ms
- 30 ms
- 40 ms

💡 ヒント:通常は変更する必要はありません。回線品質が悪い場合や通信遅延が大きい環境でのみ調整してください。

受信バッファ

受信側ネットワークで発生するジッターを吸収するためのバッファです。

設定値

- 20 ～ 200 ms (10 ms刻み)

💡 ヒント: 通常は変更する必要はありません。回線品質が悪い場合や通信遅延が大きい環境でのみ調整してください。

CLOUD ID

⚠ 警告: このサービスは現在利用できません。

クラウドID

8文字のクラウドIDを設定します。

クラウドIDは接続セッションを識別するために使用され、クラウドサービスへの認証にも必要となります。

💡 ヒント: 各ブリッジポートは、一度に1つの接続のみ受け付けることができます。

パスワード

ブリッジポートへ接続する際に必要な認証用パスワードを設定します。

設定可能文字

- 8文字: A ～ Z, a ～ z, 0 ～ 9, +, -

🔒 注意: パスワードは常に8文字で設定する必要があります。

送信バッファ

送信側ネットワークで発生するジッターを吸収するためのバッファです。

設定値

- 10 ms
- 20 ms
- 30 ms
- 40 ms

💡 ヒント:通常は変更する必要はありません。回線品質が悪い場合や通信遅延が大きい環境でのみ調整してください。

受信バッファ

受信側ネットワークで発生するジッターを吸収するためのバッファです。

設定値

- 20 ～ 200 ms (10 ms刻み)

💡 ヒント:通常は変更する必要はありません。回線品質が悪い場合や通信遅延が大きい環境でのみ調整してください。

Group Passive

ポート設定

グループ

ローカルコンフィグからグループを選択します。

接続先 (Active 側) では異なるコンフィグを使用している場合があるため、グループ名が異なっても問題ありません。

コールモード

この設定では、このチャンネルで**コール信号**を送信・受信するかどうかを指定します。



設定値

- 無効
- 受信
- 送信
- 送受信

ルーティング

ルーティングを有効にすると、このブリッジは他の拠点間を中継するプロキシとして動作できます。「ルーティングしない (Don't Route)」に設定した場合、このブリッジから受信した音声は、別のブリッジ接続へ再送信されません。



設定値

- 無効
- 有効

接続設定

接続モード

IP/PORT

UDPポート

UDPポートは、接続先となるリモートブリッジのポート番号を指定します。

設定可能範囲

- 00000 - 99999

💡 ヒント: 各ブリッジポートは、一度に1つの接続のみ受け付けることができます。

パスワード

ブリッジポートへ接続する際に必要な認証用パスワードを設定します。

設定可能文字

- 8文字: A ~ Z, a ~ z, 0 ~ 9, +, -

🔔 注意: パスワードは常に8文字で設定する必要があります。

送信バッファ

送信側ネットワークで発生するジッターを吸収するためのバッファです。

設定値

- 10 ms
- 20 ms
- 30 ms
- 40 ms

💡 ヒント: 通常は変更する必要はありません。回線品質が悪い場合や通信遅延が大きい環境でのみ調整してください。

受信バッファ

受信側ネットワークで発生するジッターを吸収するためのバッファです。

設定値

- 20 ～ 200 ms (10 ms刻み)

💡 ヒント: 通常は変更する必要はありません。回線品質が悪い場合や通信遅延が大きい環境でのみ調整してください。

CLOUD ID

⚠ 警告: このサービスは現在利用できません。

クラウドID

8文字のクラウドIDを設定します。

クラウドIDは接続セッションを識別するために使用され、クラウドサービスへの認証にも必要となります。

💡 ヒント: 各ブリッジポートは、一度に1つの接続のみ受け付けることができます。

パスワード

ブリッジポートへ接続する際に必要な認証用パスワードを設定します。

設定可能文字

- 8文字: A ～ Z, a ～ z, 0 ～ 9, +, -

🔒 注意: パスワードは常に8文字で設定する必要があります。

送信バッファ

送信側ネットワークで発生するジッターを吸収するためのバッファです。

設定値

- 10 ms
- 20 ms
- 30 ms
- 40 ms

💡 ヒント:通常は変更する必要はありません。回線品質が悪い場合や通信遅延が大きい環境でのみ調整してください。

受信バッファ

受信側ネットワークで発生するジッターを吸収するためのバッファです。

設定値

- 20 ～ 200 ms (10 ms刻み)

💡 ヒント:通常は変更する必要はありません。回線品質が悪い場合や通信遅延が大きい環境でのみ調整してください。

🕒 2026年5月11日 🕒 2021年2月19日

👤 Henk-Jan Blok, Koen Versantvoort



株式会社アートウィズ
〒134-0003 東京都江戸川区春江町5-11-2
Tel : 03-5667-9682